

第1号議案

令和3年度事業報告及び収支決算に関する件

〔I〕令和3年度事業報告書

自 令和3年 4月 1日

至 令和4年 3月 31日

【令和3年度の重点事項】

1. J A S・表示制度（以下「J A S制度等」という。）を巡る様々な動向を踏まえ、情報収集を行うとともに、農林水産省はじめ関係省庁の指導の下、関係団体と連携を図りながら、J A S制度等の運用について積極的な役割を果たすよう努力した。
2. 関係団体の協力を得て、下記の諸事業の実施等を通じ、J A S制度等の普及啓発及び情報発信等に努めた。

【諸事業の実施】

1. J A S 普及啓発事業

(1) 情報誌の発行・配布による広報活動

情報誌「J A Sと食品表示」については、J A Sや食品表示に関連する情報を中心に、有機や林産関係の内容も併せて毎月1回発行し、関係団体・事業者、関係行政機関及び消費者団体等に配布した。昨年に引き続きJ A Sの普及啓発を目的としたJ A Sマーク付の付箋を書籍購入者、講習会・セミナー参加者等へ広く配布するとともに、会員からの要望に応じて随時必要個数を提供した。また、主に小学生を対象とした「夏休みの自由研究」のコーナーをホームページに設け、食品等に付いている3種類のJ A Sマークの意味を子供達と一緒に子育て中の親世代にも知ってもらえるよう企画した。

情報誌のより一層の普及を目指し、各号の記事に関連する非会員の団体・企業に毎月DMとして情報誌を送付し、会員や定期購読者の拡大に努めた。

(2) ホームページの充実及び最新情報のメール配信

J A S協会のホームページの内容をより一層充実させることで、会員だけでなく、非会員の方々にもJ A S制度や講習会の開催等に関する有益な情報を配信することに努めた。

また、団体会員に対して迅速な情報の提供が必要な際は、メールにて最新情報を発信した。

(3) 媒体広告

J A S協会チャンネルをホームページに掲載し、昨年制作した動画「選んでくださいJ A Sマーク」に加え、J A Sに関連した動画も公開した。会員からの要請、広告効果などを総

合的に判断し、J A S 制度、規格などの広告を掲載した。

(4) イベントへの出展等

イベント概要	当日の様子
第16回食育推進全国大会inいわて 期日：令和3年6月26日～27日	新型コロナウイルス感染拡大防止の為、WEB配信のみで開催された。J A S 協会として「選んでください J A S マーク」の動画で参加した。
農林水産省「消費者の部屋」特別展示 中止 期日：令和3年9月13日～17日	新型コロナウイルス対策の緊急事態宣言発令のため開催が中止された。

2. J A S 講習事業等

(1) 食品製造業品質管理担当者等一般講習会の開催

一般加工食品の J A S 認証申請製造業者及び認証製造業者の品質管理担当者等を対象とする一般講習会を、次表のとおり実施した。また、今年度も引き続きコロナ感染予防と遠距離からの参加を容易にするため、同時ライブ配信を行った。

開催日（2日間）	場 所	受講者数	内 容
【第1回】 令和3年5月18日～19日	フクラシア （東京）	会場 18 名 WEB111 名	・ J A S 制度について ・ 食品の表示について ・ 品質管理概論 ・ 食品の安全性 ・ 食品工場における衛生管理 ・ 品質管理活動の実際 ・ 確認テスト 「 J A S 制度と食品の表示」
【第2回】 令和3年10月5日～6日	主婦会館 （東京）	会場 19 名 WEB138 名	
【第3回】 令和4年1月18日～19日	フクラシア （東京）	会場 19 名 WEB 81 名	

(2) 有機関係 J A S 講習会の開催

有機加工食品の格付（又は格付の表示）を行う生産行程管理者、小分け業者及び輸入業者を対象とする J A S 講習会を、次表のとおり実施した。また今年度は2回開催し、何れも同時ライブ配信を行った。

開催日	場 所	受講者数	内 容
【第1回】 令和3年 11月26日	ジャパン ライム (東京)	会場 2 名 WEB 61 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総論 <ul style="list-style-type: none"> ① J A S 法及び有機食品の検査認証制度 ② 有機加工食品の日本農林規格及び認証の技術的基準 ・ 各論（業種ごとにコース分け） <ul style="list-style-type: none"> <u>A コース</u>（生産行程管理者・小分け業者対象） <ul style="list-style-type: none"> ① 生産行程の管理又は把握の方法及び格付の方法 ② 小分けの方法及び格付の表示の方法 <u>B コース</u>（輸入業者対象） <ul style="list-style-type: none"> ③ 輸入品の受入れ・保管の方法及び格付の表示の方法
【第2回】 令和4年 3月18日	ジャパン ライム (東京)	会場 3 名 WEB 19 名	

(3) 特別セミナー等の開催

(ア) 情報提供の一環として、当協会会員を中心に、特別セミナーを次表のとおり開催した。何れも同時ライブ配信を行った。

開催日	場 所	参加者数	内 容
令和3年 11月16日	主婦会館 (東京)	会場 7 名 WEB126 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「化学物質管理の大転換『自律的管理』へ」 講師：城内 博 氏 (独) 労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 化学物質情報管理研究センター長 ・ 「ESG・SDGs時代の企業経営」 講師：石川 友博 氏 (公社) 流通経済研究所 上席研究員
【林産】 令和3年 9月1日	ジャパン ライム (東京)	会場 6 名 WEB 60 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「新たな『住生活基本計画』」 講師：長岡 達己 氏 国土交通省 住宅局 木造住宅振興室 課長補佐 ・ 「新しい『森林・林業基本計画』について」 講師：宮脇 慈 氏 林野庁 森林・林業基本計画検討室 課長補佐

			<ul style="list-style-type: none"> ・「ツーバイフォー工法の SDGs 貢献、パラダイムシフト順応の可能性」 講師：橋本 幸 氏 ウイング（株） 取締役
--	--	--	---

※所属・役職名は、開催当時のもの

(イ)時宜に適した食品表示セミナーを年3回開催した。

3. 農林水産省補助事業

令和3年度 J A S ・ J F S 規格の認証支援に向けたモデル実証事業

(令和4年1月～)

将来の輸出拡大に向けたステップとして有機 J A S の新規認証事業者や認証継続事業者に対して認証費用を支援する補助事業で、支援対象者を公募、受付、審査したのち補助金を交付するまでの業務と、その対象事業者に対して「有機 J A S 制度の運用改善効果の調査」を行う。令和3年3月末までに実施規定及び申込要領作成等の公募準備を行った。繰越申請が認められた為、令和4年度内に全ての業務を終了させる予定。

4. 消費者庁委託事業

(1) 令和3年度新たな加工食品の原料原産地表示制度等に係る表示実態調査

(令和3年5月～令和4年3月)

現在流通中の商品について、平成29年施行の「新たな加工食品の原料原産地表示制度」の表示状況及びアレルギーに関する表示の視認性向上に関する取組実態の調査と分析を行う為、スーパーの1店舗において商品1,744点の義務表示事項等を撮影し、その画像の整理、分析後、調査報告書を提出した。

(2) 令和3年度新たな加工食品の原料原産地表示制度に係る食品関連事業者の理解度等調査

(令和3年10月～令和4年3月)

平成30年度より行っている「新たな加工食品の原料原産地表示制度の理解度調査」の追跡調査として、前回と同じ事業者に対し同じ設問を実施した。加えて、今後の食品制度の在り方についても問い、その集計(937件分)・分析した調査報告書を提出した。

(3) 令和3年度「魚介類の名称ガイドライン」検討委託業務

(令和3年4月～令和4年3月)

平成27年施行の「食品表示基準」で義務づけられている魚介類の名称の表示は、水産庁が平成19年に制定したガイドラインを基本としている。昨今の魚介類を巡る状況の変化により改正に係る要望が多い為、令和元年度は魚類について検討した。令和3年度は甲殻類についての検討会を計3回開催し、その内容を取りまとめたガイドライン改正案を提出した。

5. J A S 規格集等作成販売事業

「JAS制度の手引 2021年12月版」を発行した。また、前回の追録実施（令和2年10月）以降にJAS規格等が新たに制定及び一部改正された品目について、その内容を整理したJAS規格集（7冊）を追録として発行した。

6. 支援業務等事業

有機JAS認証機関設立のためのセミナーやJAS制度の研修への講師派遣など、JAS制度や食品表示などに関する指導・教育・研修等の支援業務を積極的に行った。

7. 諸会議の開催

(1) 総会

当協会定款に基づき、次表のとおり総会を開催し、議案について可決承認された。

期 日	場 所	議 案
(定例) 令和3年 6月15日	ホテルモン トレ銀座 (東京)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度事業報告及び収支決算に関する件 ・ 会費及び賛助会費の額並びに納入方法に関する件 ・ 役員を選任に関する件

(2) 理事会

当協会定款に基づき、次表のとおり理事会を開催し、議案について可決承認された。

期 日	場 所	議 案
【第1回】 令和3年 5月11日	書面決議	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度事業報告及び収支決算に関する件 ・ 会費及び賛助会費の額並びに納入方法に関する件 ・ 役員を選任に関する件 ・ 令和3年度通常総会の開催に関する件
【第2回】 令和3年 6月15日	ホテルモン トレ銀座 (東京)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会長、副会長及び専務理事の選定について
【第3回】 令和4年 3月11日	製粉会館 (東京)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度事業計画及び収支予算に関する件

(3) 連絡協議会

当協会の団体会員の出席を得て、次表のとおり連絡協議会を開催した。

期 日	場 所	主要議題
令和4年 1月13日	フクラシア (東京)	<ul style="list-style-type: none">・ J A S 法改正について 農林水産省 西川室長・ J A S 新規格の動向について 農林水産省 安井課長補佐・ 来年度の予算について 農林水産省 山口課長補佐 林野庁 高木課長補佐・ 有機の運用改善について 農林水産省 酒瀬川課長補佐・ J A S 認証工場調査等の運営について F A M I C 村田課長

(4) 有機 J A S 関係の連絡会

当協会の賛助会員の認証機関の出席を得て、次表のとおり有機 J A S 関係の連絡会を WEB で開催した。

令和4年 1月14日	WEB 配信 のみ	<ul style="list-style-type: none">・ J A S 法改正について 農林水産省 長谷規格専門官・ J A S 新規格の動向について 農林水産省 安井課長補佐・ 来年度の予算について ①令和4年度予算 農林水産省 山口課長補佐 ②有機農業推進総合対策緊急事業等補正予算の説明 農林水産省 農産局 曾我部係長・ 有機の運用改善について 農林水産省 酒瀬川課長補佐・ J A S 認証工場調査等の運営について F A M I C 村田課長
---------------	--------------	--